

名事研=ユ=ス

大きく変わりつつある学校 子どもたちのため、学校のためにできることを

名古屋の学校事務をデザインする

会長 早川 数幸
(菊井中学校)



学校教育法の事務職員職務内容の改正、共同学校事務室、コミュニケーション・スクールの役割の見直しなど、今までになく事務職員という存在が注目されています。また、名古屋市では権限移譲により、給与制度の変更、係長級職員の新設、新たな標準職務など、事務職員が新たな職になったと言っているほどの変化をしています。学校教育においても、新学習指導要領の実施を目前に控えるなど、学校そのものも大きな変化の渦の中にあると思います。このような状況の中で、名事研の役割とは何か、再確認していく必要があると考えます。

平成二十年に初めて標準職務通知が出された当時、十年と経たずに大幅な改正がされると考えた人はいたでしょうか。十年後にどうなっているのか予測することはできないと感じました。それゆえ、今、存在感を示すだけでなく、将来どのような状況になっても対応できるように、準備していくことも大事なことだと思っています。

名事研は名古屋の学校、そして子どもたちのための組織です。大きな変化の渦の中で、子どもたちのために何ができるのか、事務職員の未来像について皆で考えていきたいと思っています。

平成二十九年度名事研活動について

副会長 坪井 宏之
(山田小学校)

平成二十九年度の定期総会にて、昨年度に引き続き「ともにつくろう！新しい時代の学校く」なごやっ子の輝く未来のためにく」が名事研のテーマに決まりました。このテーマは、なごやっ子のために、名事研の会員皆で、教職員、保護者、地域とともに協力して、これからの学校をつくっていくこう、という意思を表しており、この内容の体現をめざして今年度、名事研は活動していきます。

また、昨年度からスタートした第二期名古屋の学校事務のランドデザインは三年間の実施を計画して策定されています。そこで、めざす学校事務像、学校事務職員像の実現に向けて、名事研組織、名事研の会員一人ひとりが、戦略Ⅰ「学校事務機能の強化」・戦略Ⅱ「マネジメント力の向上」を念頭に活動し、戦略Ⅲ「学校事務制度の提言」につなげていきます。

様々な大きな変化の波が打ち寄せつつある今こそ、会員一人ひとりの力を集め、各区研究会と連携し、なごやっ子のために、教育目標の達成に寄与する学校事務の研究を推進することが大切ではないでしょうか。そのために、何ができるかを皆で考えていきましょう。

定期総会・講演会



五月十九日(金)に名古屋市教育センターで講演会及び平成二十九年定期総会が行われました。講演会では教職員課長 久野賢二氏を講師に招き、「学校事務職員に期待すること」をテーマに講演を行い、続く定期総会では平成二十八年年度事業・決算報告、平成二十九年年度の役員等承認、事業・予算計画の承認がされました。

権限移譲を始めとする学校事務を取り巻く劇的な環境変化に対して、名事研は改めて役割を考え、会員、区事務研、専門部、事務局のより一層の連携を促し、学校事務からなごやっ子のためどのようなことが可能か、皆様と考えていきたいと思っています。

定期総会の始めには新規採用者の挨拶が行われ、今年度は三十一名の仲間が新たに加わってくれました。壇上の新規採用者は、皆やる気に満ち溢れており、名古屋の「学校事務職員」として、今後大きな力になってくれることでしょう。

名古屋市教育委員会 教職員課長 久野賢二氏の講演では、権限移譲における今年度の状況をリレーのバトンパスに例え、今はバトンが渡った瞬間であり、さらなる加速をめざす段階であると話されました。そのためにも「学校事務職員」という職が無かった名古屋市に、新たな職で新たなスタートを切ったところであると考えて、新たな学校事務職員制度を築き上げてほしい、変革期であるからこそできる改革があるのではないか、また、教職員課長のご希望として三

点。一、学校間連携及び事務センターを活用した改善・効率化・集約化を図っていただきたい。二、標準職務の確実な実施と揺るぎない専門性を発揮していただきたい。三、専門性を横展開して学校全体のマネジメント力を向上し、学校の業務改善に貢献していただきたいとお話でした。



専門部紹介

よろしくお申し込みします！

事務局

事務局長 則武 真雄

平成二十九年年度は、権限移譲により、さまざまな制度が変わりました。事務局では、この制度変更を踏まえ、名事研、区事務研、会員の皆様のできることを整理し、研究組織としての活動の方向性について、中長期の視点で検討し、提案をしたいと考えています。

係長級との関わりや今後の研究大会のあり方など、この大きな変わり目の時に、名事研組織がどうあるべきか、会員の皆様のご協力もいただきながら考えていきたいと思っています。

研修部

研修部長 森 哲平

私たち、名古屋の学校事務職員を取り巻く環境は大きく変わりました。変わるという予告は数年前からされていました。その間に私たち自身はどう変わっていったのか。己の職について再度問いただしたこの数年間、それ自身が大きな研修的効果を持つものだったのではないかと感じています。

研修部では、全体研修会や事務・Gymを運営することで、私たち自身が更に変化するきっかけ作りを目標に活動していきたいと思っています。よろしくお申し込みします。

研究部

研究部長 小島 啓治

一月の研究大会では本会の研究活動について、パネリストを始め会員の皆様から大変厳しいご意見を頂きました。本年度は部員が減少してしまっただけでもあり、事務局と合同で今後の研究方針を検討します。学校事務を取り巻くさまざまな状況の変化の中、目先の職務から将来的な学校事務職そのものまで、研究テーマは多々あります。どんなテーマであっても、会員の皆様とともに考えた、名事研全体の研究といえるものでありたいと思います。

情報部

情報部長 竹田 英祐

今年度、新たに大勢の部員を迎えました。専門部は初めて、という部員が過半数の情報部です。経験は不足していますが、その分、自由な発想力を生かして頑張っていきたいと思っています。

名事研ニュースや広報誌「じむけん！」の発行を行い、情報発信に努めていきたいと思っています。また、学校が使いやすい学校徴収金システムとはどのようなものか、会員の皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお申し込みします。

専門部では現在も部員を募集しています。一人でも多くの方と協力して活動していきたいと思っています。興味のある部があれば、直接各部長までご連絡してください。お待ちしております。